

日本共産党品川区議会議員

**菊地貞二**

週刊区政ニュース第369号

09年05月03日発行

## 中央環状品川線～大気汚染の拡大はあきらか

# 大井埠頭の大型車増加



五反田換気所の工事説明会には200名余の方が参加をされ、東  
京都の説明に耳を傾け  
ました。この説明の中  
で「脱硝装置」の設置  
も公表されています。  
これまで東京都は  
「運用開始時期の汚染  
状況を見て設置を決め  
る」としてきました。  
住民の声に押されて設



中央環状品川線の工事が本格化してきましたが、こう  
した中で南品川換気塔工事の説明会に続いて五反田換気  
塔工事説明会が開催されました。  
地域住民のみなさんから「新宿線の影響を調査するま  
で凍結を」の主張に賛同の拍手が送られる説明会となり  
ました。

### 東京港の拡大計画で大型車両の増加

#### 羽田・横浜港の車両も品川線へ誘導

置を決めたようですが、  
住民にとって高速道路  
の建設そのものが車両  
を呼び込み、大気汚染  
の拡大につながると言  
う心配は消えません。



さらに、港湾計画に  
よる大型コンテナ車両

が増加し品川線に誘導  
されようとしています。

### 国と行政の責任を明確に

「東京構想2000」  
を基本にしてつくりられ  
た「都市づくりビジョ  
ン」は、石原慎太郎東  
京都知事が「国際都市  
東京を創造する」「都  
市再生を迅速、確実に  
進める」として策定さ  
れました。この中で大  
井埠頭を国際的な港湾  
物流基地として機能強  
化を進めると位置付け  
ています。

この具体化として東  
京都都市整備局作成の  
「総合物流ビジョン」  
では、東京港を国際物  
流機能の強化として物  
流拠点の形成や、貨物  
量の増加に対応した倉  
庫、生産地・消費地に  
いたる円滑な貨物輸送  
の確保、官民一体となっ  
た物流サービスの向上  
と港湾コスト低減の取  
り組みなど、総合的な

物流の効率化が求められると位置づけました。問題は、大井埠頭などに陸揚げされた貨物を全国に輸送、地方港湾や空港から海外に輸送するための高機能道路として中央環状線を位置づけ、ビジョンに

は「中央環状品川線完成に合わせ、中央環状線への大型貨物車の誘導方策などをおこない過度な都心部走行を抑制」と記述され、中央環状品川線に車両を集



中させるとしています。

## 国と行政の責任を明確に

ビジョンによれば、

なりません。

大井埠頭を使う大型車両や横浜港から出発した環状七号線を利用して品川線に誘導されることに

品川線の交通量予測では、現在の山手どおりを通過するのが日量3万6千台。品川線が開通すると5万1千台。現在、山手どおりを通行する車両の一部は品川線を利用するため山手通りで2万8千台となり、計7万9千台で2.2倍化。この交通

量予測に港湾計画による大型車両の増加は見込まれているのでしようか。東京港整備について、05年に開催された「港湾問題都区連絡協議会」では、「大井埠頭を利用する大型車は増加するが、品川区部を通過することはない」としていました。

しかし、「総合物流ビジョン」を見る限り、港湾計画で増大する大型車両は品川線を利用し、品川区内の換気塔から汚染物質を撒き散らすことになるのではないのでしょうか。



しかし、「総合物流ビジョン」を見る限り、港湾計画で増大する大型車両は品川線を利用し、品川区内の換気塔から汚染物質を撒き散らすことになるのではないのでしょうか。



## 無料法律相談会 (生活相談は随時)

ところ すすらん通り事務所

日時 5月22日 (金)

午後6時～8時



前日まで15742-6818までお電話を下さい。